

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名	筑北環境衛生組合参画事業(し尿処理場)						事業区分	新規/継続 単独/補助	継続 単独	担当	事務事業No. 050702000216
政策体系上の位置付け											
総合計画の施策名	0507		廃棄物の抑制と適切な処理						所属課	030301	生活環境課
政策名	05	快適な暮らしのまちづくり						課長名			
施策名	07	廃棄物の抑制と適切な処理						グループ		環境公害対策G	
手段名	02	②分別収集と適正な処理						担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し (昭和40年度~)				
	01	04	02	01	01	00	清掃総務事業 ← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				
法令根拠											

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要		
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 市民生活圏の拡大、市民ニーズの高度化・多様化に対応するため、広域的な自治体連携により実施をする。 昭和40年筑北環境衛生組合設立により、構成している市町村等でし尿処理施設を運営している共同事業である。 分賦金の算出方法は、前々年度の搬入割100%よる。(例：H30年度分賦金は、H28搬入量)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】 許可業者の監督指導。分賦金納入執行 【主な活動】 会議への出席 分賦金の納入執行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
許可業者の監督指導・賦課金納入執行	会議の出席	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	分賦金	千円	99,429.00	106,116.00	106,110.00	106,110.00	106,110.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
筑北環境衛生組合し尿処理施設・市民	桜川市人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
処理できた桜川市のし尿の量	し尿搬入量	t	15,610.00	15,600.00	15,600.00	15,600.00	15,600.00
	桜川市搬入率	%	55.15	55.00	55.00	55.00	55.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投 入 量	事業費 内訳	30年度 (実績)		01年度 (実績)		02年度 (計画)		期間限定 総投入量
	国庫支出金	千円	0	0	0			0
	県支出金	千円	0	0	0			0
	地方債	千円	0	0	0			0
	使用料・手数料	千円	0	0	0			0
	その他	千円	0	0	0			0
	一般財源	千円	99,429	106,116	109,294			0
	事業費計(A)	千円	99,429	106,116	109,294			0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

01年度事業費実績(千円)

02年度事業費予算(千円)

19 負担金補助及び交付金	106,116			19 負担金補助及び交付金	109,294		
合 計			106,116	合 計			109,294

事務事業名	筑北環境衛生組合参画事業(し尿処理場)	事務事業No.	50702000216	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ し尿を効率良く適正に処理するため、昭和40年筑北環境衛生組合が設立された。公共下水道や合併浄化槽の普及により、し尿の搬入は減少傾向にあるが、浄化槽汚泥は増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民生活上、必要な事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である し尿処理は、市民生活上必要であり、且つ効率的な広域運営をしているものであり、分賦金支出は必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 筑北環境衛生組合し尿処理施設運営事業に参画しているため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民生活に重大な影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 構成市で、協議決定されたものであり適正である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の分賦金は、利用量割等の算出根拠が定められており、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	下水道の整備等によりし尿処理業者の搬入量が減少している。し尿処理業者の経営圧迫につながるため、他の地区からの新規参入は認められない。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>